



SmartBarcode[®]

サプライチェーンを繋ぐ製品パスポート

LOZI
ZIP THE LOGISTICS



会社名 株式会社LOZI

設立 2018年11月

代表者 Martin Roberts/ CEO

住所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-1-36 NUP・フジサワ丸の内ビル8階

資本金 52,400,000円 (内資本準備金22,400,000円)

電話 052-212-8779

URL <https://www.lozi.jp>

業態 トレーサビリティソリューション [SmartBarcode]の提供



目指す「食」の課題解決

フードバリューチェーン全体の可視化 (生・製・配・販)

食品物流の最適化 (24年問題、共配、マルチモーダル)

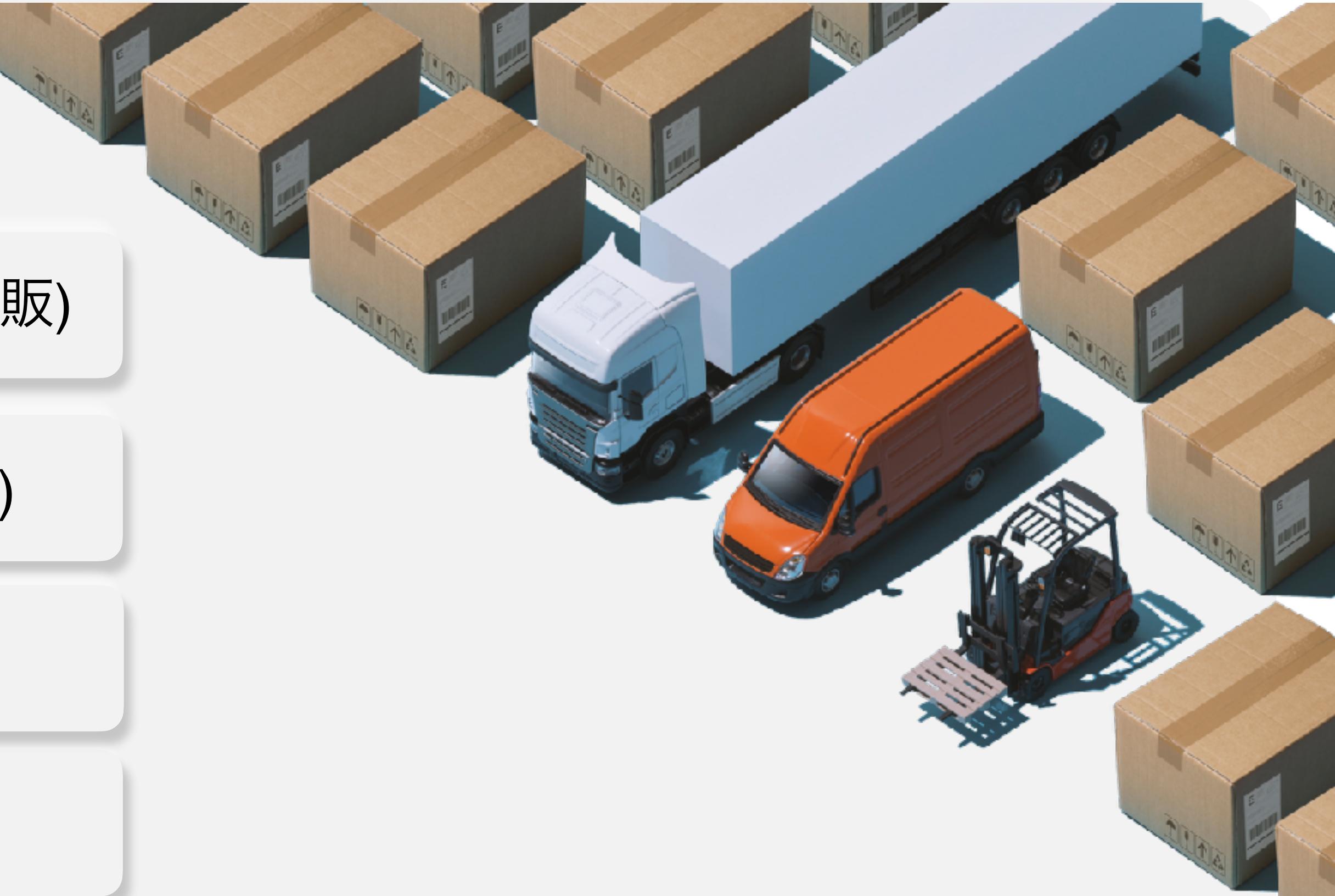
ファクトリーDX (原材料管理、誤製造防止)

食の安全/安心の提供 (鮮度 / HACCP / 産地偽装防止)

GHG排出量の可視化 (Scope1 / 2 / 3)

生産者の思いを消費者に届ける

フードロス問題への寄与





SmartBarcode® SmartBarcodeソリューションの強み

チェーントレースと内部トレースを統合し、サプライチェーン全体を可視化

①チェーントレース



物流情報



②内部トレース



物流情報



農場や牧場での生産情報

- 1.出荷情報(品目/収穫日/出荷日等)
- 2.プロモーションコンテンツ
- 3.環境負荷情報、防除歴

工場内での加工プロセス情報

- 1.原材料管理
- 2.製造工程の記録(誤製造防止)
- 3.賞味期限管理、HACCP情報

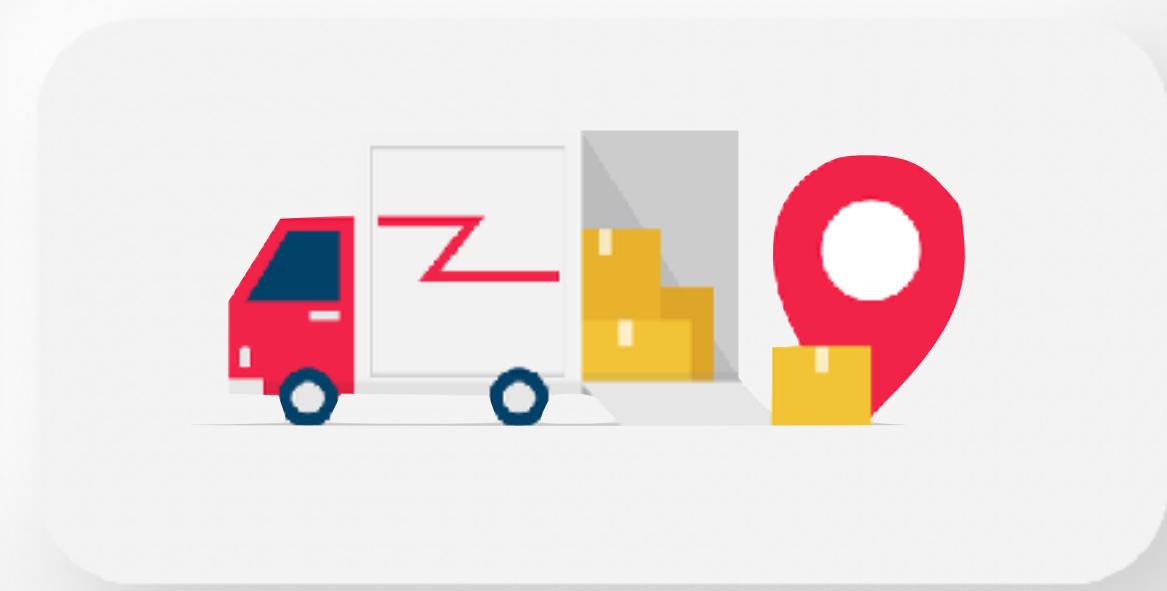
流通/消費者への情報提供

- 1.鮮度 / 原料 / 原産地 / 品質などの情報
- 2.生産者の思い



フォーカスしている4つの領域

シームレスなトレーサビリティ



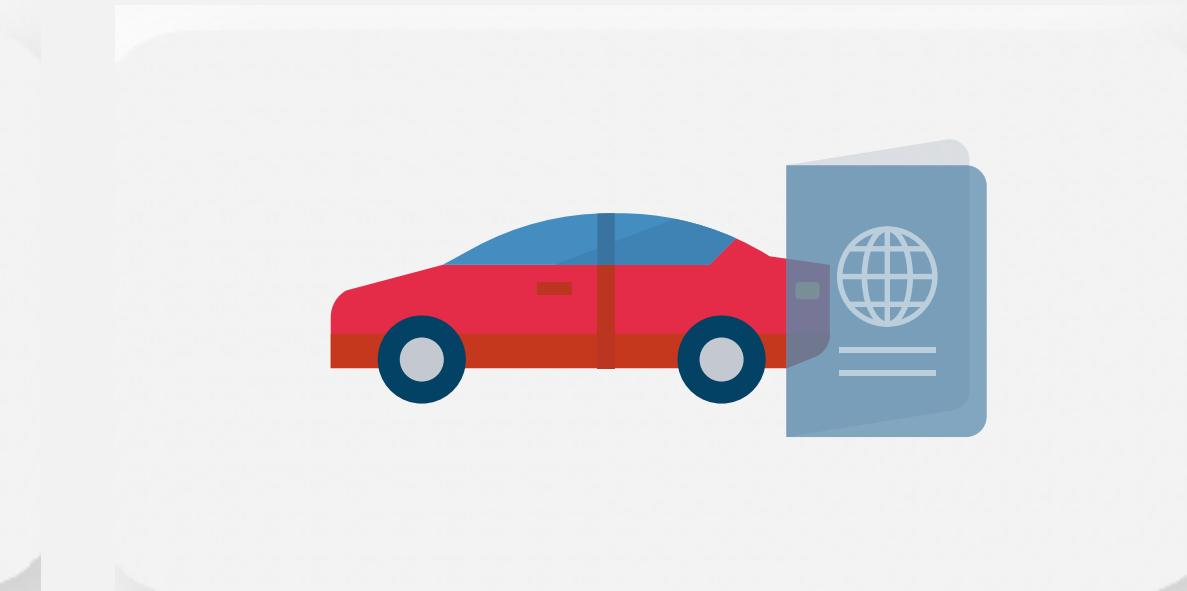
異なる事業者間での
分断されないトレーサビ

業務の効率化



目検業務でのヒューマンエラー防止
フレキシブルな帳票生成

モノのパスポート



サプライチェーン上で
必要な情報の記録/蓄積/共有
ブロックチェーンの活用

カーボンニュートラル

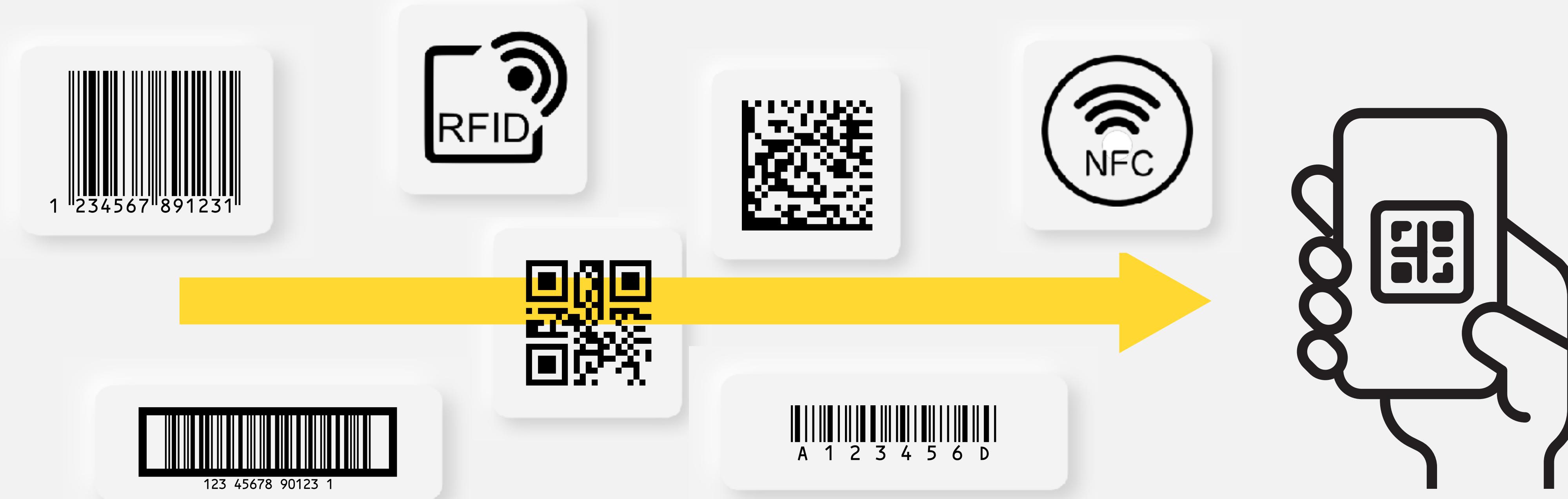


輸送時排出量算出
サーキュラーエコノミー[®]
ペーパーレスの実現



SmartBarcodeの独自性

ユニークなIDを保有する様々なタグを読み取り、
WEBアプリを介して業務や拠点に応じた情報を記録 / 蓄積 / 共有



対応可能なタグ

RFID / QR / GS1シンボル / Codabar / Code128,39 / EAN / UPC / R-MQR / NFC etc,

生・製・配・販における不特定多数の事業者、マルチデバイスによるト雷斯が可能

【使用可能なデバイス】

スマートフォン&タブレット



ハンディターミナル(Android実装各社端末)

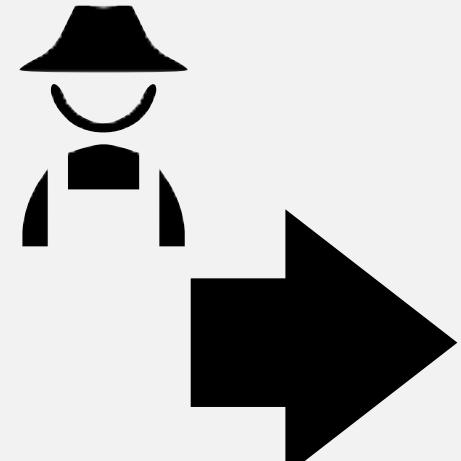


RFIDリーダー(各社端末)



【使用例】

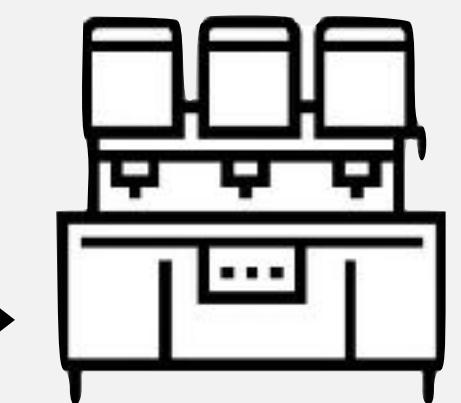
①農場でのト雷斯



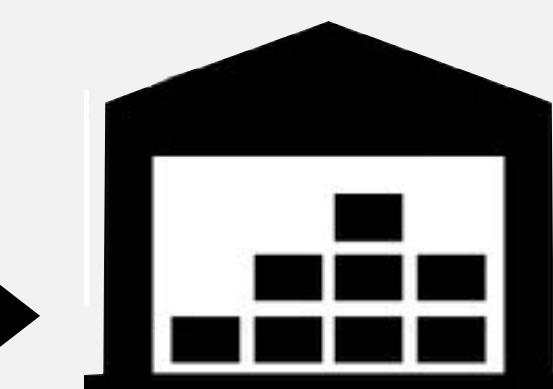
②ドライバーのトレス



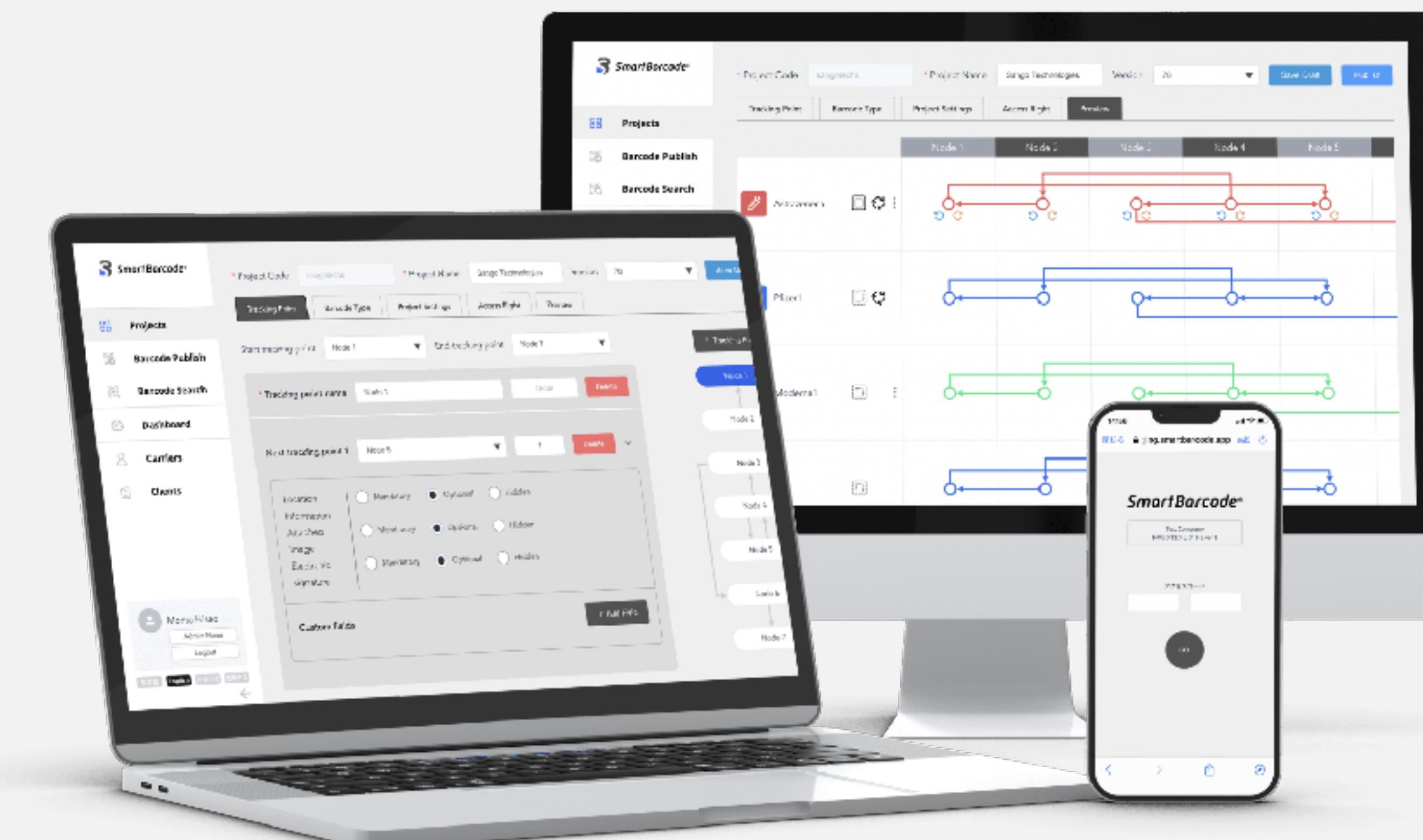
③工場のトレス(製造管理)



④倉庫のトレス(入出庫) ⑤流通のトレス(入庫)



ノーコードで自社のトレースシナリオに合わせたアプリを生成でき、
トレースデータも高度に管理



- 1 トレーシングアプリの構築
- 2 バーコード発行機能
- 3 バーコード検索機能
- 4 事業者登録機能
- 5 トレースデータの管理